

週報



2019

年頭標語

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう

VISION

幸せな家庭、健康な教会
国家と世界に貢献する統一運動

スローガン

真の父母様と一つになって
生涯最高の実績を残す年にしよう

活動指針

- 1.三代圏理想家庭と孝情共同体形成
- 2.真の家庭づくり運動推進と神氏族メシヤ勝利
- 3.未来人材育成と二世圏祝福強化
- 4.地域天一国化と救国救世基盤造成

世界平和統一家庭連合

FAMILY FEDERATION for WORLD PEACE and UNIFICATION

加賀家庭教会

KAGA FAMILY CHURCH

教会長：我那覇真

天運を呼ぶ感謝の生活

真の御父母様のみ言 (天運を呼ぶ生活 P152~)

● 感謝する生活をしなければなりません。習慣的な生活を反復する人になってはいけません。どんなに孤独な場においても、感謝する生活をする事ができる人にならなければなりません。感謝する心で生きなければ、霊界に行って天法に引っ掛かるようになります。感謝して喜ぶ事ができ、その福を万民に分けてあげ、彼らも喜んで感謝するようにしてあげなければなりません。「神の国は、実にあなたがたのただ中にあるのだ」(ルカ福音書 17/21)とイエス様が語られたように、感謝する心がなければ、天国に行くことができないのです。

● 信仰生活の本質は何でしょうか？神様に感謝する心です。それが神様と私が一つに結ばれる根本になるのです。この世の中で良い立場に立って初めて感謝するのでしょうか？違います。神様は、今まで良い時だけ私たちのために苦勞してこられたのではありません。困難な時であればあるほど、より苦勞することを誓ってこられたのです。

ですから、今日の私たち自身も、神様を私の父として侍るためには、私の代わりに働かれ、闘ってこられた神様に、良いところで感謝するよりも、困難なところでより一層感謝しなければなりません。十字架の途上においても神様に感謝できるということも、このような原則を理解するときには可能なのです。

● この地に生きる人たちの中で、本当の意味で神様に感謝を捧げる人は誰でしょうか？文明国家や文化生活をする人たちより、発展途上国の不便な生活環境の中で受難の道を行く運命にありながらも、神様に侍って生活する人です。そのような所でも、神様に侍って生きる人がいれば、彼は不幸な人ではありません。そこで神様と心情的因縁が結ばれるのです。喜びと悲しみの涙が重なり合う心情の因縁は、遊びまわるところでつくられるのではありません。血を流して悲慘に死んでいくようなところでつくられるのです。言うに言えないほど凄惨な姿で出会うところ、涙が交差するところでも感謝するとき、神様と因縁が結ばれるのです。新しい革命ののろしも、新しい革新運動も、そのようなところから起こり、歴史がつづられてきたのです。アージュ！